

あすなろ通信 27号

編集 NPO法人みよし子育て・学び支援あすなろ

事務局：〒728-0006三次市島敷町3番7
(Tel 0824-55-6301 Fax 55-6302)

発行日2016年4月6日

自分でできることを、自分なりに一生懸命やってきた。

ただそれだけですよ

(元広島カーブ：衣笠祥雄)

相手の立場に立つことって何？

NPO法人みよし子育て・学び支援あすなろ副理事長 松本信司



今年度、NPO法人みよし子育て・学び支援あすなろは大きな改革を行いました。それは学力支援

教室を大幅に縮小したことです。

理由は二つ挙げられます。まず一つ目は財政難であるということ。NPO法人あすなろは学力支援教室だけではなく、他に元気教室・居場所づくり教室等いくつかの教室を抱えております。ここに通塾して来る子どもたちは色々な課題を抱えてやってくる。それぞれの課題にそれぞれのスタッフが指導に当たるため、多くの人件費が必要となるのです。

二つ目の理由は資金集めです。皆様もご存知のように、NPO法人あすなろは多くの市民の方々や企業・団体の皆様の寄付金によって運営されています。支援して下さる皆様はNPO法人あすなろの設立理念に賛同して支援して下さっているのだと思います。その設立理念であり、経済的に苦しい家庭の子どもたちにも低額な授業料で学力保障をしていく、ということが年月が経つにつれ、次第に薄れてきている状況が出てきました。こういう状況では支援をお願いすることが難しくなった、と理事たちは感じてきました。そこで、今一度原点に立ち返り出直そうと決意し改革に踏み切った次第です。三十数名いた塾生を、いきなり十名前後に縮小するのですから、生徒の皆さんや保護者の皆様には

大変ご迷惑をおかけしましたこと、心よりお詫び申し上げます。

今後は、設立理念であります「学力格差の是正」にスタッフ一同、力一杯努力をしていきたいと思っております。変わらぬご支援の程よろしく願います。

ある本との出会い

そんなモヤモヤした気持ちでいた頃、ある本に出会いました。それは、セブン&アイ・ホールディングスを率いる鈴木敏文さんが執筆された「売る力」という本です。今やセブン&アイ・ホールディングスはコンビニ業界トップのセブンイレブンをはじめグループ総売上高九兆円の巨大流通企業です。「どうして次から次へと新商品がだされ、その多くがヒットするのか」「コンビニ業界は飽和状態と言われるのに、どうして業績を伸ばし続けることができるのか」……この小売業・流通業の勝ち組と言われるセブンイレブンのトップの著書を読んだら、物が売れるには道理があるということがよく分かりました。社長の経営理念の一つに、「お客さんのために」ではなく「お客さんの立場で」を挙げています。「お客さんのために」では視点

は売り手側で売り手の立場で考えてしまっています。しかし「お客さんの立場で」考えるという事は、視点がお客の側にあるので、時には売り手にとって都合な事でも、お客の立場に



たって実行するということがあるということです。そこにお客の真の満足感が生まれるのではないかと思います。十年ぐらい前コンビニは夜でも開いていて便利の良さが売りものの小売業で、所詮コンビニ……というイメージでしたが、今のセブンイレブンは微塵も感じません。これはセブンイレブンのどんな小さなことにもこだわる企業姿勢と、お客さんの立場で商品サービスを作り出す創造性があるからだということがよく分かりました。

私は三六年前小学校の教員をしてきました。「子どものために」と一生懸命頑張ったつもりですが、ややもすると押し付けになっていたのでは？と思うこともあります。今思えば「子どもの立場で」考えていけば、もっと違ったやり方や、結果を求めたいがために、あまりにも事を進めるのが急ぎすぎたのでは、と反省することも多々あります。

障害者権利条約を二〇一四年に批准

今私は、障害者の作業所に勤務していますが、障害者権利条約が日本でも二〇一四年に批准されました。

障害者権利条約のスローガンとして「われわれのことを我々抜きで勝手に決めるな！」とあります。これは障害者の視点から作られた条約であり画期的であるといえます。

私たちはともすると「障害のある人のために」という思いから、本人の意思を十分尊重しないまま、色々な事を決めていたように思えます。本当に「障害のある人の立場」に立ちまわっているのか、絶えず利用者の声を傾聴し自問自答することが必要です。真に利用者の立場に立つということは大変なことですが、利用者を理解しようとすることはできます。いかに利用者の視点で支援を考えることができるか、相手の立場に立つということは、自己変革が求められているということだと思います。

一生懸命頑張ります！よろしくお願ひします

あすなる学力支援教室塾頭 影山克典



私の好きな詩の一つに真壁仁の「峠」という詩があります。

峠 真壁 仁

峠は決定をしているところだ。
峠には訣別のためのあかるい憂愁がながれている。
峠路をのぼりつめたものは
のしかかってくる天碧に身をさらし
やがてそれを背にする。
風景はそこで綴じあっているが
ひとつをうしなうことなしに
別個の風景にはいつてゆけない。
大きな喪失にたえてのみ
あたらしい世界がひらける。
峠にたつとき
すぎ来しみちはなつかしく
ひらけるみちはたのしい。
みちはこたえない。
みちはかぎりなくさそうばかりだ。
峠のうえの空はあこがれのようにあまい。
たとえ行手がきまつていても
ひとはそこで
ひとつの世界にわかればならぬ。
そのおもいをうずめるため
たびびとはゆっくり小便をしたり
摘みくさをしたり
たばこをくゆらしたりして

私は昨年まで高校の数学の教員を四〇年やってきました。定年退職をした後も二年間再任用として勤めてきました。

現役の高教員の時、私が最も力を注いだ取り組みの一つに、被差別の位置に置かれた生徒の進路保障があります。この取り組みを通して私が痛感したことは「差別↓経済的格差↓教育格差↓」の悪循環を断ち切る必要があるということです。

二〇〇〇年度以降、行政の方針により高校現場から先のような取り組みは姿を消しましたが、問題が解決したわけではありません。自分としてできる努力は様々にやってきたつもりですが、個人の力だけではできることが限られていました。しかし、細々とした努力でも続けていくしかないと考え、教員生活を送ってきましたが、今のような教育のあり方で良いのだろうか、ずっと憤りを持って過ごしてきたことは事実です。

あすなる塾との出会い

そのような時「あすなる塾」の講師に応募してみなにかという話をいただきました。もともと生徒に勉強（数学）を教えることは好きですし、さらに高校の数学の内容についてはある程度自信もありましたので、このまま再任用をあと三年続けるか、ここで新しい道に進み、新たな世界を切り開くか、大いに悩みました。さらに言えば、「あすなる塾」というフィールドで、自分はどこまでことができるのか、やってみなければわからない部分もありましたし、結果として塾生に迷惑をかけることになってはいけないと考えました。

しかし、この塾の設立・運営趣旨である「経済的格差を教育格差にしてはならない」という考えに大きく心を揺さぶられ、新しい世界に踏み込むことを決意しました。

精一杯頑張りますのでよろしくお願ひします。

新体制でスタート

今年度、NPO法人みよし子育て・学び支援あすなるは、学力支援教室中学部十名、元気教室六名でスタートすることとなりました。

スタッフは次の通りです。

*学力支援教室講師

・影山克典（塾頭、数学講師）

・守本秀樹（英語講師）

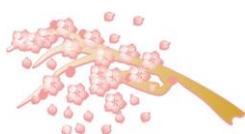
二名の講師の先生を紹介します。二・三ページで自己紹介しておりますので、多くは述べませんが、大変優秀な指導力の持ち主です。三月まで教鞭をとっておられ、「学力格差の是正」に遣り甲斐をもって手を挙げていただきました。大いに期待したいと思います。

*元気教室はそれぞれの課題に応じたカリキュラムで指導にあたります。指導者は四車先生、黒田先生、木原君（県立大学生）です。

NPO法人あすなるの理事を紹介します

- ・理事長 黒田明憲
- ・副理事長 松本信司
- ・理事 事 三橋 豊
- ・理事 事 瀬川政博
- ・理事 事 竹折豊子
- ・理事 事 伊川大慶
- ・理事 事 影山克典

新体制では、影山先生に理事に就任していただき、教育と運営の一体化により、より効果的な指導内容が実現すると確信しています。



子どもは地域の宝、社会全体で育てよう

あすなる学力支援教室英語講師 守本秀樹



日本社会では、子供の教育は家庭に任せられる事が一般的です。国内総生産（GDP）に占める教育への公的支出の割合は、六年連続してOECD加盟三四か国の中で最下位であるという調査結果が、その

ことの表れです。子どもの教育に国が責任をもち、経済的な支援（奨学金の給付など）をすることは重要視されてきませんでした。

格差と不平等が拡大

格差と不平等が拡大する施策の中で、子どもの貧困率は一六、三％（二〇一二年厚労省調査）と過去最悪を更新中で、六人にひとりが相対的貧困状態にあります。経済的困窮は、子どもの生活そのものを危機に陥れ、学ぶ権利を脅かす要因となっています。子どもの貧困と教育の機会の不平等を解消するためには、きめ細やかに子ども支援をするための少人数学級の推進等、教育予算の拡充は不可欠と言えます。

また、大学の奨学金も日本では借りることが当たり前になっていますが、諸外国では奨学金は給付型の奨学金が一般的です。だから、英語では奨学金はゲットする（もらう）もので、借りるものではありません。

現在、大学生の二人にひとりが奨学金を利用していません。日本の奨学金は、かつては全て無利子でしたが、一九八四年に有利子の奨学金が導入されて以来拡大し続け、今では三分の二が有利子となっています。大学を卒業すると同時に平均約三〇〇万円の借金を抱

えることとなるのです。自宅を離れ、私立の大学に通う場合はさらに多額の奨学金を借りることが必要となります。例えば、月一二十万円の奨学金を借りて、二〇年で返済する場合、返済総額は六一四万円にもなります。給付型奨学金の創設や無利子型の奨学金を拡充する署名が全国的に展開されています。子どもは社会全体で育てるという当たり前のことが実現されなければなりません。

私の決意

今年一月に、今年度新塾頭に就任する影山先生から、三次の「あすなる塾」を一緒にやらないかという誘いを受けました。あすなる塾は、すべての子どもたちに学びの機会を保障する目的で、支援を必要としている子どもたちの「居場所づくり」「学力支援」をすすめ、より多くの子どもたちの「抛りどころ」となることを願って設立されたと聞きました。このあすなる塾の開塾の崇高な精神に感動し、二つ返事で協力を申し出ました。自分にも何かできることがあると確信したからです。

私は、三次市内の農家の生まれで、高校卒業まで三次市で過ごしました。子どものころは、自然豊かな田舎で、家のすぐ前を流れる美波羅川で魚釣りをしたり、戸外での腕白な遊びをとおして、山と川の恵みを当然のように享受してきました。

大学を卒業してからは、広島市内に在住し、広島市近辺の高校で英語の教員として定年まで過ごしてきました。自然と触れ合う機会を求めて、山や海、川でのあそびを求めて仕事を求めるエネルギーを得てきました。これも、田舎で過ごした少年時代があったから

こそです。恵まれた自然に囲まれて育ったことで、生活を豊かにする術が身に着き、自然を愛する心が育ったと思っています。たとえ一時的に地域を離れようとも、自然を愛し、地域を愛する心は失われることはありません。

過疎化、少子化が進行する中山間地域では、医療と教育の充実が地域振興の大事な柱です。産業の振興と同時に、学校や病院がなければ、生活の場としてその地域を選択することはできません。高等学校までは、自宅から、地域の学校へ行くことができるようにすることが、公教育の責任と考え、小規模校の存続の運動に関わってきました。自然豊かな三次の地で高校まで過ごしたことが私の生き方、考え方を決める大きな要因となったと感じているからです。

自己紹介

最後になりましたが、簡単に自己紹介をします。趣味は、スポーツ、釣り、山菜採りです。とにかく体を動かしていることが大好きです。高校時代には天体観測に熱中していたこともありました。冬のスキー、春の山菜採り、溪流魚釣り、夏のチヌ釣り、秋の紅葉狩りと一年を通して遊ぶことには食欲でありたいと思っています。これまでは農家の長男でありながら、年若い両親に農業を任せていましたが、米作り、野菜作りを改めて学ぼうと思っているところです。

あすなる塾で学ぶすべての子どもが、それぞれの個性を大切にしたい、希望する進路が実現できるように、全力でお手伝いをさせていただきます。よろしくお願ひします。



辻村寿三郎人形館に行こう！

つじむら じゅさぶろう
辻村 寿三郎 (人形師)

昭和8年、旧満州(中国東北部)の生まれ。辻村家の養子となり昭和19年に引き揚げ後は三次に住む。昭和30年に上京、人形劇団、芝居道具の職人などを経て、昭和36年に人形作家として初の個展を開催。

昭和48年、NHK連続テレビ人形劇『新八犬伝』の人形美術で一躍脚光を集め人形作りや舞台芸術など幅広い分野で活躍。平成25年三次町に辻村寿三郎人形館を開館。(NHK「人生の歩き方」の3月号『辻村寿三郎』を参照)



NHK人間の記録130 辻村寿三郎表紙より転載

三次を知ろう！
みなさんにあすなる通信を通して、三次出身(ゆかり)の方々を紹介したいと思います。方法は私が調べたり、ご本人に書いていただいたりです。みなさんのこれからの歩みの参考になればという気持ちからです。今号は人形師辻村寿三郎さんと鶴匠日坂文吾さん(次ページ)です。

「人間の記録 辻村寿三郎」を読もう！

残念ながら私は面識がありませんが三次市出身の人形師辻村寿三郎さんは超有名な方です。人形づくりにとどまらず、総合アーティストとして活躍され注目を集めておられる方です。作品が芸術的にどんなに素晴らしいかをみなさんに伝える力は私にはありませんが、日本図書センターから発行された「人間の記録 辻村寿三郎」を読んで感動しました。あすなるのみなさんにもぜひ読んでほしいと思いました。

* * *

「野の草花がたまたま芽を出したのが日陰ならばそこで、日向ならばそこでというふうに、与えられた環境のもとで生きていく…」

「泥水のなかからこそ清らかな美しいハスの花が咲くという仏教の教えがあります。もし人が草や木のように、生え育った環境に応じて風雨にさらされるとしても、花を咲かせ実を結ぶためには、困難に耐えて生き抜かなければなりません」

* * *

生まれ育つ場所に根をはって

寿三郎さんはお父さんとは子どもころの死別。現在でいう、「ひとり親家庭」でお母さんに育てられました。お母さんと二人で満州から引き揚げ、終戦も重なり三次での生活は大変でした。

寿三郎さんの家は当時、「大人の遊びのまち」と言われた一角にあり、大勢の芸者さんがおられました。お母さんは仕出し料理の店を営んでおられ、芸者さんたちの出入りも多かったようです。周囲には三次劇場もあり芝居の興行や映画が上映されており、教育環境はよくないといわれていました。寿三郎さんはこの土地から芸事の養分をすいあげられ夢をそだてられ、人形作家の素地をつくられたのです。

寿三郎さんの本を読んで、もう一つみなさんに

伝えたいと思ったことがあります。

「三つ子の魂百まで」に磨きを

ここでいう三つ子というのは三歳という意味です。寿三郎さんは一歳の誕生日の時、筆とそろばんと人形を並べてハイハイをしたら人形を取ったと、母さんから聞かされていたそうです。

また、人形の着物にと芸者さんの着物をはさみで切ってひどく叱られたとも書いておられます。

「好きこそもの上手なれ」ですが、好きだけではなく、夢は持ち続け、才能を磨く努力を重ねられたからこそ、現在も世界的に光り輝き続けられる寿三郎さんがおられるのです。

みなさんも「好きなこと」をみつけ、夢に向かって自分を磨くことを学んでください。

夢ある限りー求め続けてー

寿三郎さんはお母さんが亡くなられたのを機に夢を求めて上京されました。二十二歳の時、前進座の河原崎国太郎さんを頼って上京されます。

劇団、人形座、芝居の小道具などの仕事を体験され、苦勞を重ねながら人形作家の地位を築かれるのですが、NHK連続テレビ人形劇「新八犬伝」の人形を作られ一躍脚光をあびられました。

NHKが発行した「人生の歩き方シリーズ辻村寿三郎」を読むと随分と著名な方々と交流を持っておられます。作家の三島由紀夫・劇作家の寺山修二等々。どなたも自分の夢を生涯にわたって求め続けられた方々です。

寿三郎さんは八十歳を超されたのですが、今も夢を求め、自分を磨き続けておられることだと思います。夏休みに辻村寿三郎人形館に行きませんか！生徒は無料かも？

(文責くろだあきのり)

日本一の三次鶺鴒をめざして

鶺鴒协会会长 日坂文吾



中学校時代の恩師、四車先生から「鶺鴒」という仕事を始めた経緯や現在の心境について書いてほしい」という依頼を受けました。

先ず、私とあすなるの關係ですが、これまでも川のイベントなどで協力をさせていただいていますが、その発端は黒田明憲理事長との出会いにあります。いつの場合も私を前へ前へと推し進めてくださる心の師です。この出会いを私の大きな財産にしたいと思っています。

今から二十二年前、当時勤務していた広島市内の企業を退社し三次に帰りました。その頃は、やりがいを感じることもなく、何を求めるでもなく日常を過ごしていました。こうした時期、アルバイト感覚で鶺鴒の船頭を始めました。当時の船頭さん達は威勢がよく、竿や櫂を使い自由自在に舟を操っておられました。私は船頭さんの自信と誇りを持っておられる姿に接して自分の心に何か熱いものが込み上げてきたことを今もよく思い出します。

鶺鴒遊覧船の船頭を一シーズン終えた頃、当時の三次市観光協会会長五阿弥琢磨氏から「鶺鴒になつてみないか」と声をかけられたのです。

それまでの私は、川にまったく興味もなく、鶺鴒という鳥を見たのも初めて、船に乗るのも初めてという状況でしたが「誰にもできる仕事ではない。ダメでもともとチャレンジしてみるか!」という心境になるのに、そう時間はかけることなく、「未知の世界」に足を踏み入れました。

それからは毎日が勉強でした。全てのことにトライし、鶺鴒とのコミュニケーション、鶺鴒舟を操舵する技術

等の修得にあけくれながら、持ち前の「負けず嫌い」もあって何とか現在に至りました。

四年前から市内の小中学校の児童生徒を中心に、三次市の伝統文化『鶺鴒』並びに鶺鴒の仕事の素晴らしさを伝えていく、いわゆる啓発活動に取り組んでいます。子ども達に『失敗を恐れず何事にも挑戦』を口にしていきます。その言葉は、子どもたちに、胸を張り目標に向かって欲しいという願いですが、私自身への言い聞かせでもあります。

幸い鶺鴒は「人間が動物を育てる」「生き物が人間を育ててくれる」というお互いのカリスマ性を生かし、鶺鴒と共存しながら、伝統文化の継承・保存に精進しなければならぬ世界です。私たち鶺鴒の心のレベルアップが問われる世界でもあると思っています。

こうした点を一番大切にしながら、私自身が鶺鴒道を極める努力を重ねると共に、後進の指導にも全力を注ぎ、三鶺鴒が力を合わせて誰にも認められる日本一の三次の鶺鴒に位置付けることが夢であり目標です。みなさんも新聞報道などご承知だと思えますが、十四羽の鶺鴒が死にました。四百年余の三次鶺鴒の歴史の中でも、かつてなかったことです。鶺鴒は「鶺鴒ならし」といって、一年以上かけて鶺鴒に使えるように育てるのですが、逆に私たち鶺鴒が「鶺鴒に慣れる」期間でもあります。

鶺鴒の捕獲が許可されている茨城県十王町から捕獲して送っていただく予定にはなっていますが、いつ来るかは定かではありません。正直に言ってお私たちが鶺鴒にとつてはすごいショックな出来事です。でも、悔やんでも嘆いても鶺鴒は生きかえってはきません。市民のみなさんを始め、関係団体からも「元気をだせ」「ピンチをチャンスに」と様々の言葉で励ましていただいています。

逆境にたつて改めて、

二十二年前、私に鶺鴒の道を与えていただいた五阿弥元観光協会名誉会長、観光協会や三次鶺鴒伝統文化振興会のみな様に育てていただいたことへの感謝の思いを深くしています。

また、江の川漁業協同組合をはじめ川の関係者皆様の励ましに心から感謝を申し上げます。

私たちはくじけることなく前へ進み、更なる展望に繋げていきますのでよろしくお願ひします。



砦

*今号は八ページ編集ですが原稿いっぱい。「砦」の所定欄がなくなりましたので引越しました。次号からはスペースを確保して編集します。

*中学部は定款の目的にそつて、ひとり親家庭の生徒の個別指導を重視し少人数指導態勢で再発足します。学力支援の基盤に「生徒・保護者との信頼関係」を置き「一期一会」の学びの場とすることを目指しています。

*小学生を中心とした元氣教室には、学校で居場所を持たない子どもたちがいます。まずは「子どもたちに笑顔を!」をモットーに取り組みます。幸い、調理施設やピアノのある八次集会所の使用を三次市が認めてくださいました。感謝! 放課後クラブの生徒たちや地域の高齢者も一緒に楽しめる『あすなるサタデー』を企画中です。ご期待ください!

*八十歳を超えて街頭募金活動を初経験。若返りました。感謝です。(くろだあきのり)

あすなる応援隊のみなさんありがとう！



あすなる塾の子どもたちと一緒に
クリスマスを楽しもう



あすなる応援隊

R & M. contribution 主催

アール アンド エム コントリビューション

12月20日(日)午前9時～12時まで 八次集会所



応援隊の家族のみなさん・地域の子どもたちも参加して大盛会。子ども・ボランティアのみなさんの笑顔、笑顔の半日でした。

あすなる応援隊として頑張ります！

塚川 直美

私はベネシードK・K(健康食品推進)のディーラー(代理店)のひとりです。会社の方針に「地域社会への貢献」があります。そこで思いついたのが「あすなる元氣教室」に通ってくる子どもたちの応援団になるうでした。さっそく、四車ユキコ先生をはじめ、理事の方と相談し、十二月二十日にクリスマス会を一緒にすることにしました。まず、仲間に声をかける人集めから始めました。お汁粉、豚汁、むすびと、食べごとはとんとん拍子にまとまりました。クリスマスプレゼントやプログラムづくりは中学や高校の文化祭をやるように、みんなはしやぎました。

当日は近所の人や知り合いの方がたくさん集まってくれました。歌あり、紙芝居あり、手品あり、盛りだくさんの一日でした。広島県共同募金会の「あすなる街頭募金」にも三回立ちました。

これからも子どもたちの笑顔ではじけるような塾になりますように頑張っていきたいと思っています。みなさん、協力ありがとうございます！

私の若返り！来年も応援させてください！ 西口さくら

友人から「あすなる塾 知ってる？」

「ああ農道にある塾だろう。毎日、通勤する途中にあるから知っているよ。普通の学習塾じゃない」

「違う違う！ひとり親家庭など経済的に苦しい家庭の子どもたちや学校に行けなくなった子どもたちを受入れている塾よ。」

学校にいけない子どもと聞くと私は『ドキッ』とします。私の子どもも一時期そうだったから...

「あの塾の子どもとクリスマス会をしようと思うの！手伝って。」

イベント嫌いじゃない私のこと。二つ返事でOK。ケーキ・クツキーは？サンタは？誰に声をかけようか？あの人にも、この人にもと。メニューはぜんざい・豚汁に決まり。さてさて、出し物は？考えることの楽しさ！何年ぶりかで胸ワクワク。でも、歌では年齢差を百パーセント感じました。来年は子どもたちと歌える歌を練習しておきます。

子どもたちの笑い声を聞いて、夜勤明けの眠気も吹っ飛びました。この無邪気な明るさを大切にしなければと思いました。一生懸命な先生方の背中を見せていただきました。また、応援させてください。

私の若返りのために。お願いします！

あすなる応援隊のみなさんありがとう！



クリスマス会の企画、料理を裏で支えられたスタッフ。

「あすなるのみなさんこんにちは！」サンタさんと仲間たちです。



2月14日(日)、2月21日(日)、
3月6日(日)に赤い羽根共同募金の
街頭募金活動を「あすなる応援隊R&
Mコントリビューション」の方々の協
力で行いました。ありがとうございます。



サングリーン街頭募金準備風景。

2月プラザ会場。寒い1日でした。



あすなるのみなさん・応援隊のみなさん苦勞さんでした。



サングリーン街頭募金。「ありがとうございます」

仲間を増やしたい 上田美香

あすなる応援隊として、クリスマス会という大きなイベントに初めて参加させていただきました。

一人ひとりの力はちっぽけですが、仲間が集まれば助け合っけて一つのことを成し遂げていくことができました。かわいらしい子どもたちの笑顔にいっぱい接することができ、私にとっても充実した一日でした。未来ある子どもたちに、地域に愛着をもつていただき、ふるさと三次が活性化することを願って、これからもあすなる応援隊として支援させていただきたいと思えます。もっともつと協力して、同じ志を持つ仲間を増やして、子どもたちに笑顔プレゼントしたいと思っています。

不慣れな点多々ありましたが、回数を重ねていくことで、上手になっていきますので見守ってください。

豚汁・おしるこ担当 高田至子

若い人たちのおかげで出来上がりは上々。子どもたちがなん杯もお代わりをするのを見て『ああよかった！八十に手がとどくようになったけど、まだ大丈夫』と元気をもらいました。スタッフのみなさんの協力と頑張り感謝です！



ご献金・ご協力ありがとうございました

会員制を充実・運営の安定化を目指して

理事長 黒田 明憲

発足以来、支援を続けていただいているミヨシ電子株式会社・株式会社三次衛生工業社・まきの薬品様をはじめ、市民のみなさま、福山市の弓戸清子様、東京都の木倉敬之様など遠隔の地のみなさま方に心より感謝を申し上げます。

また、今年度は三次市社会福祉協議会の推薦をいただき、広島県共同募金会の「地域活動支援プロジェクト」マツダ財団の「第三十二回市民活動支援事業」に参画することができました。ありがとうございました。

おかげで今年も中学生の学力支援教室、居場所を持たない子どもたちを中心とした元気教室を開くことができました。更に過疎地の寺院や地域組織との連携、定期的に塾に通うことのできない子どもたちのための学力支援フリー教室を企画することができました。

これまで助成金と寄付金頼みの運営でしたが、企業経営者の方から、「会員制を確立して少しでも収入の安定を計れば」という助言をいただき、五千円以上の寄付者を賛助会員として登録させていただきました。一年間、『あすなる通信』をお送りする予定にしています。また、昨年より「あすなる応援隊」が結成され、十二月のクリスマス会・二〇二三年三月にかけて街頭募金活動等を行っていただきました。ありがとうございました。



設立理念の「子どもの貧困の問題」も今や国の施策となってきました。当法人も指導態勢を新たにして明日の三次を担う子どもたちの支援に取り組むことを約束します。

ご寄付・ご協力をいただいた企業等

(順不同)

- ・広島県共同募金会助成事業
- ・三次市社会福祉協議会
- ・ミヨシ電子株式会社(三次市東酒屋町)
- ・(株)三次衛生工業社(三次市四拾貫町)
- ・まきの薬品(毎月)(三次市十日市東)
- ・江の川漁業協同組合(三次市三次町)
- ・シンセイアート(株) 三次営業所
- ・鵜匠会 (三次市向江田町)
- ・三次鵜飼船頭技術保存会(同)
- ・あすなる応援隊(R&Mコントリビューション)
- ・**ご寄付をいただいた市民のみなさま**
- ・弓戸 清子 (福山市東手城町)
- ・木倉 敬之 (東京都久留米市大門町)
- ・関家 水濱 (奈良市藤の木台)
- ・前川 泰久 (三次市東酒屋町)
- ・三橋 豊 (庄原市高茂町)
- ・山口代三子 (三次市十日市中)
- ・小根森直子 (三次市十日市東)
- ・桑田銃十郎 (三次市四拾貫町)
- ・笹田 富子 (福山市水呑町)
- ・竹折 豊子 (三次市三良坂町)
- ・四車ユキコ (三次市南畑敷町)
- ・当天 賢二 (三次市栗屋町)
- ・岡下 君雄 (三次市島敷町)
- ・前田 紀昭 (三次市栗屋町)
- ・半田 孝江 (三次市三良坂町)
- ・山口 則子 (三次市向江田町)

- ・黒田 明憲 (三次市島敷町)
 - ・匿名 (三次市十日市南)
 - ・坂井 正幸 (三次市大田幸町)
 - ・梅田 峯雄 (三次市十日市東)
 - ・伊達 典子 (三次市四十貫町)
 - ・吉川 昌彦 (三次市西酒屋町)
 - ・見土 和則 (三次市十日市東)
 - ・匿名 (三次市)
 - ・瀬戸 三歳 (三次市三良坂町)
 - ・高田 至子 (三次市三良坂町)
 - ・高本 友枝 (三次市三良坂町)
 - ・匿名 (三次市三良坂町)
 - ・廣川 幹二 (三次市高杉町)
 - ・麓 知子 (三次市十日市東)
 - ・黒瀬 洋 (三次市廻神町)
 - ・橋本 洋資 (三次市作木町)
 - ・黒瀬 正敏 (三次市日下町)
 - ・谷口 浩子 (三次市東酒屋町)
 - ・匿名 (三次市高杉町)
 - ・近藤 哲司 (三次市四十貫町)
 - ・中村 公子 (三次市十日市中)
 - ・山田 公主 (三次市島敷町)
 - ・竹原 孝剛 (三次市南畑敷町)
 - ・和田 光信 (三次市吉舎町)
 - ・鷺尾 定子 (三次市南畑敷町)
 - ・桑名 哲英 (三次市作木町)
 - ・瀬川 順子 (三次市三良坂町)
- 街頭募金**
- ・二月十五日 サングリーン会場
 - ・二月二十四日 プラザ会場
 - ・三月 八日 サングリーン会場

ありがとうございました！

NPO法人あすなる会員・賛助会員募集

- 会 員 ・スタッフとしてボランティアで活動していただける方。年会費 1口(10,000円)以上
- 個人 年賛助会費 1口(5,000円)以上 企業等 年賛助会費 1口(10,000円)以上
- 特 典 ・あすなる通信送付(年4~5回発行) ・あすなる行事へ招待(卒塾式・講演会・イベント)